

〔平成18年度 伊勢市下水道事業会計決算の概要〕

本年度の下水道事業は、汚水処理事業として平成17年度より整備を進めてきました流域関連公共下水道事業の第1期事業を完了し、平成18年6月1日に旧伊勢市、二見町、御園町の合計459.8haの区域で供用を開始しました。第2期事業においては、平成17年度より事業に着手し、平成18年度は汚水幹線築造及び管渠の面整備工事等を進めました。小俣公共下水道事業においては、汚水管渠関連舗装工事等を行いました。

雨水対策事業としては、雨水排水路の築造を行い、雨水管路の整備・拡充を図るとともに、ポンプ場の建設を進めました。

また、旧伊勢市、二見町、御園町区域の下水道使用料については、流域関連公共下水道事業の供用開始時（平成18年6月1日）に単価の統一をいたしました。

1. 経営成績

収益的収入 1,596,011 千円、収益的支出 1,400,470 千円で、195,541 千円の当年度純利益を生じましたが、前年度からの繰越欠損金 219,719 千円を差し引き、当年度未処理欠損金は 24,178 千円となりました。

2. 財政状態

平成18年度末における財政状態は、資産の部 51,053,150 千円、負債の部 1,608,417 千円、資本の部 49,444,733 千円となりました。

〔業務量の概要〕

項 目	平成18年度	平成17年度	比 較	
			増・()減	比 率
行政区域内人口 A 人	135,944	136,924	980	99.3%
処理区域面積 ha	904.9	445.1	459.8	203.3%
汚水管渠布設延長 m	220,142	99,925	120,217	220.3%
処理区域内戸数 戸	13,475	5,801	7,674	232.3%
処理区域内人口 B 人	35,541	15,710	19,831	226.2%
水洗化戸数 戸	7,167	4,902	2,265	146.2%
水洗化人口 C 人	19,057	13,262	5,795	143.7%
普及率 B/A %	26.1	11.5	14.6	-
水洗化率 C/B %	53.6	84.4	30.8	-
処理水量 D m ³ /分	2,084,706	1,494,371	590,335	139.5%
有収水量 E m ³ /年	2,003,455	1,559,281	444,174	128.5%
有収率 E/D %	96.1	104.3	8.2	-
雨水管渠布設延長 m	7,037	6,199	838	113.5%

処理水量、有収水量について

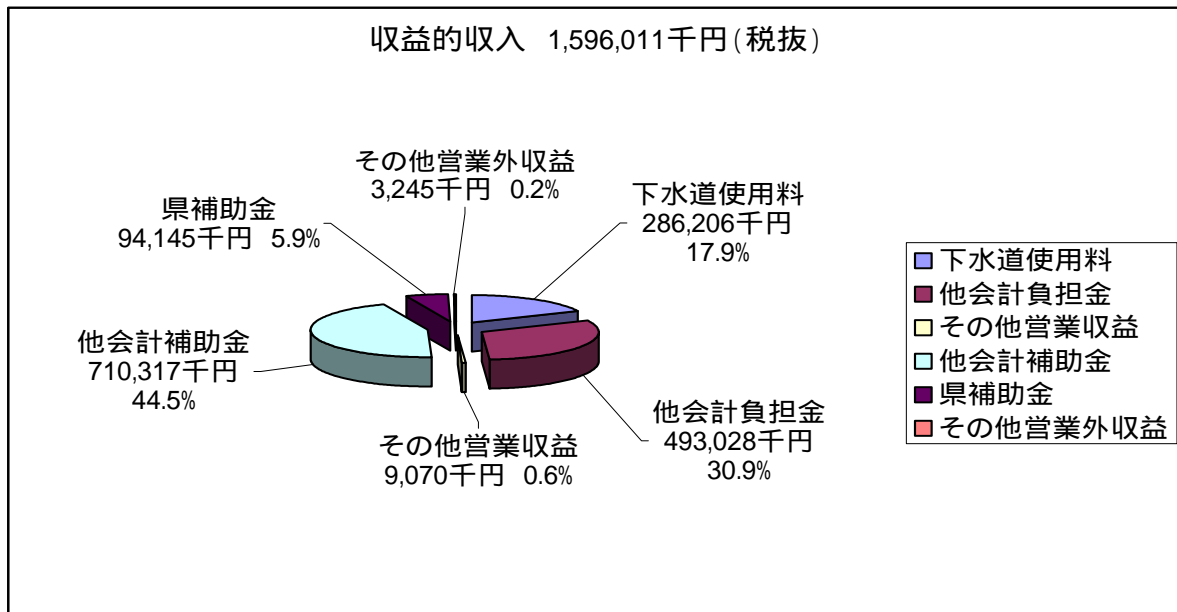
- 平成17年度は合併前の旧市町村の集計を含む。(二見町は人頭割料金制のため含まない。)
- 二見特定環境保全公共下水道事業は、従量料金制とした平成18年8月調定分より含む。
- 流域関連公共下水道事業は、供用を開始した平成18年6月分より含む。

[下水道事業の収支]

1. 収益的収支

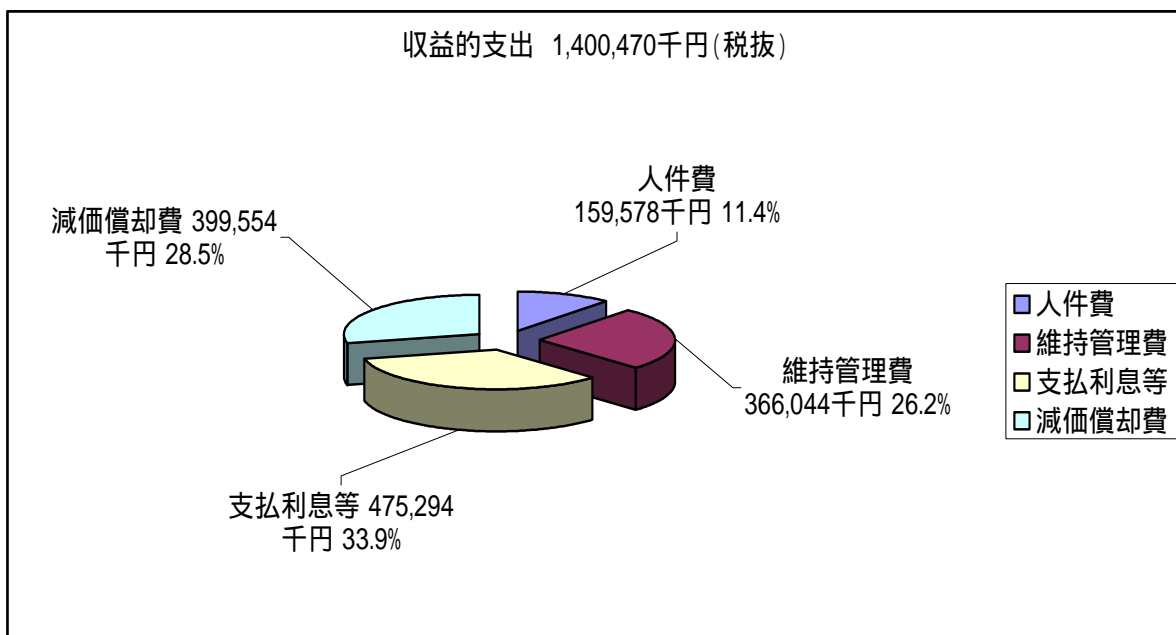
収益的収入

施設の維持管理費等下水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく下水道使用料や一般会計繰入金（他会計負担金、他会計補助金）、県補助金等で構成されています。



収益的支出

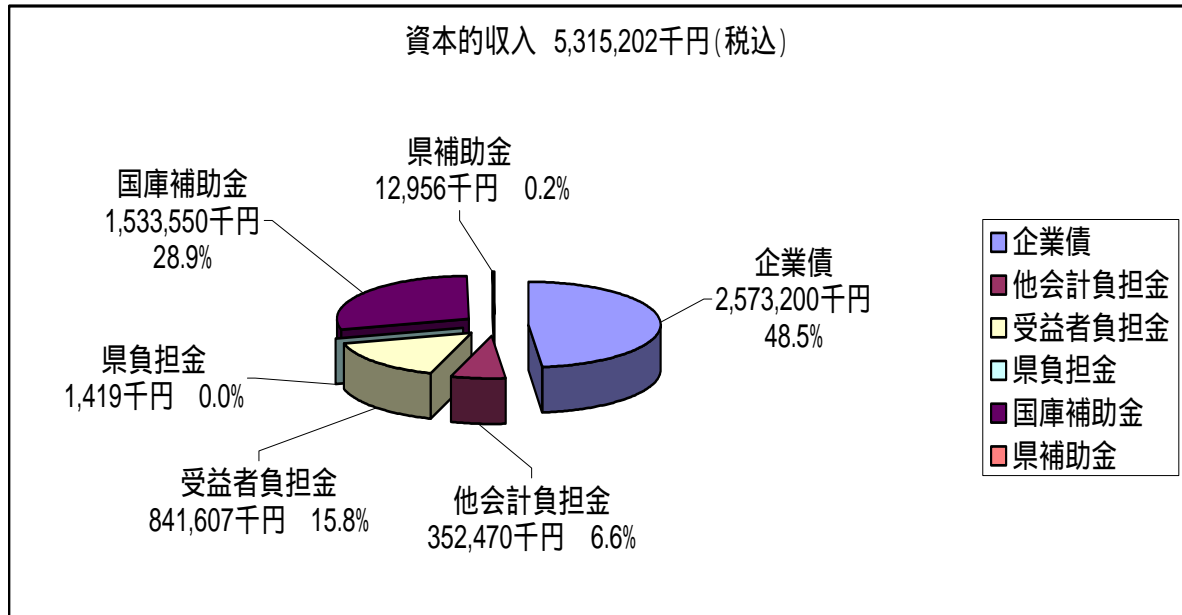
下水道使用料、一般会計繰入金等（収益的収入）を財源として、下水道事業を営んでいくために必要な経費。施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成されています。



2. 資本的収支

資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金(資本的支出)の財源。企業債、一般会計繰入金(他会計負担金)、受益者負担金、国庫補助金等で構成されています。



資本的支出

企業債や国庫補助金、受益者負担金等(資本的収入)を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金等で構成されています。

